

☆講師よりメッセージ☆

常日頃から自分が大切にしていることや、誰と、どこで、どのように暮らしたいかを考え、周囲の信頼する人たちと話し合っておくことを厚生労働省は「人生会議」と名付けました。

「食べられなくなったらどうしたいですか？」と患者様やご家族様に問うことは、終末期にどのような治療や介護を受けたいのかを考えるきっかけとなります。

在宅医療を行う患者様は、既に食べられないか、近い将来食べられなくなる患者様です。

食べられなくなったらどうするのかを、ご家族様や関係者と一緒に十分話し合ってみましょう。

その時に大切なことは、結論を出すことではありません。

人工栄養を行うのか、自然に看っていくのか、

取り得るすべての選択肢を医療介護従事者が分かりやすく伝え、

人生の最後を迎える時に患者様本人はどんなことを希望するのか、

それを考える「スタートラインに立つ」ことが大切なのです。

患者様、ご家族様と医療者が、食べること、生きることについて一緒に悩み考える食支援の過程は、まさに「人生会議」そのものだと思います。

介護職として、患者様とご家族の気持ちに寄り添う「Being」の支援を目指していきましょう。

第5回
在宅での看取りと人生会議



【講師紹介】

医療法人 ゆうの森
理事長 永井 康徳 氏

日時：令和5年1月18日（水）
13：30～16：30

会場：愛媛県総合社会福祉会館3階「研修室」
松山市持田町三丁目8番15号
※オンラインによるライブ配信
（Zoomミーティング使用）可能です。

対象：介護保険サービス事業所等に従事する介護職員

受講料：500円

申込：受講申込書に必要事項を記入の上、
令和4年12月23日（金）までに事務局
へFAX又は郵送でお申し込みください。

申込先：愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課
〒790-8553
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県総合社会福祉会館2階
FAX 089-921-3398



開催要項・受講申込書はこちらから▶▶▶

2000年開業の訪問診療専門の診療所「たんぼぼクリニック」（松山市）、へき地医療に取り組む「たんぼぼ俵津診療所」（西予市）を中心に、「訪問看護ステーションコスモス」「居宅介護支援事業所コスモス」「訪問介護事業所コスモス」さらには「はりきゅうマッサージ治療院クローバ」を併設する、在宅医療に特化した医療法人の理事長。

年間80件程度の在宅での看取りを行うなど、主に重度患者を中心に松山市全域への訪問診療を実施。全国在宅医療テストの実施、在宅関連図書の発行、在宅医療にまつわる様々なイベントの実施、研修医・看護学生・見学者等の受入れも積極的に行うなど、診療のみならず、在宅医療の発展に向けての活動も精力的に取り組まれている。